会議結果報告書

| | |
|---|---|
| 1　会議名 | ごみ処理に関する課題についての意見交換会（湘南ライフタウンＢ地区茅ヶ崎自治会） |
| 2　日時 | 平成 30 年 7 月 8 日（土）10：00～12：00 |
| 3　場所 | 湘南ライフタウンＢ地区茅ヶ崎自治会館 |
| 4　出席者 | （資源循環課）森岡担当主査、永井主任<br>（環境事業センター）小川所長補佐、和田主事、石井技能労務統括主査<br>（湘南ライフタウンＢ地区茅ヶ崎自治会）参加人数：22 人 |
| 5　内容 | 本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。<br><br>●藤沢市では、落ち葉は無料だが、茅ヶ崎市が実施する場合はどうなるか。<br>→現段階では、どこまでを有料とするかは、決まっていない。他市の状況をみると、燃やせるごみと燃やせないごみを有料としている。藤沢市では自治会等で集めた枝木は無料で回収し、リサイクルしている。また、子育て政策としてオムツも無料としている。近隣市と足並みを揃えていくことが大切だと考えている。<br><br>●藤沢市はビンも戸別収集しているが、収集の人がビンを落として、その破片で自転車がパンクしたことがある。ビンについては、従来の集積場所での回収をお願いしたい。また、どの品目が有料化で戸別収集なのかなどの一覧はあるか。<br>→現在、一覧にしているものはない。どの品目を有料化や戸別収集の対象とするかは検討中であり、他市を考えると、まず、燃やせるごみと燃やせないごみからと考ている。全国的に見て、資源物を有料化の対象品目としているところは少ないのが現状である。<br><br>●対象品目の結果は、いつ頃、示されるのか。<br>→来年度の方針決定の際に、お示しできると考えている。<br><br>●方針が決まる前に、実施の可否について問われても、判断しかねる。もう少し具体的な方向性は示せないのか。<br>→今回の場が最後の意見交換会とは考えていない。段階的に、より具体的な内容をお示ししていきたい。<br><br>●戸別収集のデメリットとして、コミュニティの希薄化を挙げているが、回覧板などを通じてコミュニティは繋がっている。集積場所を通して繋がることはない。<br>→貴重なご意見として頂戴する。<br><br>●茅ヶ崎市の金属類と廃食用油については、月に 1 回の回収日を設けているが、とても量が少ないと感じている。それらに経費をかけるのは無駄ではないか。 |

| | |
|---|---|
| | →ご指摘のとおり、月 1 回の収集の中で、空の集積場所もある。有料化を実施する前に、経費を削減できるところは、削減していきたいと考えている。金属類と廃食用油についても収集方法を見直し、そのことでごみ処理経費の削減につなげていきたい。<br><br>●プラスチック容器包装類について、汚れをどこまで落とせばよいのか。わかりやすく一覧などにならないか。<br>→油を含めた、異物がない状態がふさわしいと考えるが、洗剤等を使用して、落としていただくことまではお願いしていない。できる範囲で、異物がない状態にしていただければと思う。汚れているものは燃やせるごみとして排出していただいてかまわない。<br><br>●ごみは減少傾向なのに、施設改修によって処理能力を上げなきゃいけないのはなぜか。茅ヶ崎市と藤沢市のごみ焼却処理施設の処理能力の差はどのぐらいあるのか。また、有料化等の施策について、議会等ではどのように審議されているのか。<br>→茅ヶ崎市の焼却炉は平成 7 年に作ったものなので、大量生産・大量消費の時代の設計である。処理量を増やすためではなく、老朽化にともなう改修を予定している。規模は縮小して問題ないと考えている。今後のスケジュールとしては、来年度に方針を決定する。その後すぐに有料化等の施策を実施することは考えていない。市長の施政方針でこの内容については触れられている。平成 30 年の最初の市議会でこの内容については、市議会から質問を受けている。また、6 月の定例会では、このことについて特に質問はされていない。最終的には条例改正に伴う議決をもって、決定する流れにはなるが、それはまだ先の話となる。<br><br>●有料化したからといって、他市のようにごみが減量するとは思えないが、どのようにお考えか。<br>→藤沢住民としての体験談だが、減量に対する意識を持つようになるとのことである。分別に努めるようになる。現に分別に努めていただいている方には有料化に伴い、ごみが減少するとは考えにくいのかもしれないが、その効果は実証されている。<br><br>●施設改修にお金がかかる、灰の処分にお金がかかる、だから有料化等を実施し、いまからお金を貯めておきたいという理解でよろしいか。<br>→仰るとおり、ごみの減量化・資源化に向けた一つのメニューとして有料化等のお話をさせていただいている。<br><br>●本来ならば、ごみ処理経費は税金から賄うべきにもかかわらず、それとは別に手数料を徴収するのは、税金の 2 重取りにならないのか。手数料として徴収したものは、住民サービスに資するために使うべきではないか。<br>→ごみ処理の経費 30 億については、基本的には税負担と考えているが、このような財 |

| | |
|---|---|
| | 政状況の中で、将来にわたり安定的にごみ処理をおこなっていくために、新たな財源の確保を考えている。昔は各家庭で出されるごみは均一であったため、一律の税負担で処理を行っていたが、ごみの質と量が家庭ごとにバラつきがある現在の時代背景をふまえると、一律の税負担を求めることの是非についても考えて行かなければならない。<br><br>●戸別収集を実施する場合、市全域で考えているのか。<br>→基本は全市的に検討を進めている。藤沢市では、集積場所が残っている地区もあるようだが、徐々に全域で実施しているとのこと。<br><br>●高齢化に伴い、朝一のネットだしがとても大変なので、是非戸別収集を実施してほしい。<br>→貴重なご意見として頂戴する。<br><br>●ごみとプラスチック容器包装類は処理方法は同じか。また、燃やせないごみは燃やすか。ごみ処理の流れを資料に記載してほしい。<br>→ごみは環境事業センターで焼却され、灰の状態で最終処分場に埋め立てられる。プラスチック容器包装類は寒川のリサイクルセンターに運ばれ、業者に売却されている。燃やせないごみはそのままでは燃やせないので、一度破砕して燃えやすい状態にして、燃やしている。資料の見せ方についても、より良い形になるよう工夫していきたい。<br><br>●例えば、カレンダーをリサイクルするときに、金具をはずしてほしいとのことだが、市からメーカーに対して、分別し易い製品を作るように伝えることはできないか。<br>→今のプラスチック容器包装類のリサイクルは、メーカーの過剰包装を抑制することから始まっている。そのような動きもあるため、どこまで要望できるかわからないが、要望できる機会を捉えて、メーカーに伝えていきたいと考えている。<br><br>以上 |